



新任のご挨拶

本年2月20日の定時株主総会並びに定時取締役会において、私、向井 潔が北海道電気技術サービス株式会社の代表取締役に選任されました。

これまで代表取締役の任に就いておりました安保 均は取締役会長に、取締役会長でありました向井 隆は取締役相談役となりました。また、取締役営業部長でありました鈴木 強が常務取締役へ就任されました。

新たに会長となりました安保は、これまで8年の間代表取締役として当社をまとめ、牽引してまいりました。その前任の実績と信頼、評判を落とさぬようにしっかりと受け継ぎ、これまで以上に良い会社となるべく努めていく所存です。

私は1990年3月に北海道工業大学（現北海道科学大学）工学部機械工学科を卒業し、本州の電気部品メーカーに就職。岩手県で9年ほど過ごし、1999年に札幌に戻り、以降2011年までIT業界でプログラム開発業務に従事してまいりました。

岩手におりました頃は、夏はテニス、冬はスキー。通年を通して車でドライブ（ダートトライアルやジムカーナという競技にも参加しておりました）などしておりましたが、札幌に戻って以降はなかなか時間もとれず、運動とは少し距離が遠くなっておりました。

運動しないということは、年を経るごとに体型の維持が難しくなっております。そのような訳で、2007年頃からスポーツ自転車に乗り始め、当社に入社してからは「絶対に雨が降らない確信がある日」で且つ「お客様にお会いすることが無い日」に限り、自転車通勤を行っておりました。往復でおよそ30kmの距離になるでしょうか。

おかげで健康的な体型を何とか維持できております。

ただ、代表という役職に就きますと、事故やけが等を考え、自転車通勤は自重しなくてはならないか？とも考えているところです。

しかし、健康無くして仕事や私生活を満喫することはできません。できるだけ安全に注意しつつ、休日の自転車やその他の運動は続けていきたいと思っています。

今後各位各所にご挨拶に伺う機会があるかと思いますが、これまで以上に少しでも向井潔という人物を分かってもらえるように努めてまいります。

至らないところも多いかと思いますが、ご指導ご鞭撻を賜り、さらに成長し皆様のお役に立てるよう頑張ります。

今後ともこれまでと変わらず、弊社をご用命賜ります様、宜しく願い申し上げます。



代表取締役 向井 潔

創業47年目を迎えて

1971年4月弊社を創業して満47年になります。光陰矢のごとし 当時33才だった私も80才になりました。夢のようです。これも当時の前職の先輩、同僚のお力添えと社員のご協力、ご支援の賜物と感謝しております。

その多くの先輩は鬼籍に入り同僚としてお世話になった方々も次々と退職し北電OB会への出席も減って来ました。

弊社社員も高齢化し高卒、大卒で若く採用した方々も定年退職を迎えています。

このように長きにわたり経営を継続出来ましたこと、重ねて篤くお礼申し上げます。

子供の頃、夜は灯油ランプで明かりをとり、私はランプの「ホヤ」磨きの毎日でした。戦後2年程して電気が来てその明るさに感動し、小学校5年生頃の理科の時間に乾電池で動かす「モーター」を組み立てる実験があり、鉄板にエナメル線を巻き付けて組み立てました。結果はとても良く回りすっかり虜になったことが電気に感心を持ったきっかけです。

中学生になってからは真空管式のラジオを組み立てました。自宅の近くに工業学校があり、大学には行けない事情もあって工業学校の電気科に入学し、在学中に第3種電気主任技術者を取得し、就職難の中、北海道電力株式会社様に入社出来ました。

昭和31年の北海道電力株式会社様入社から数えると電気屋生活62年になります。人生は予想外の事の連続で、良くも今日まで無事に来られたものをつくづく思います。

今、振り返ってみますと一番楽しかったのは北海道電力株式会社様に勤めていたときの15年間で、毎月月末に給料を頂けたことは本当に有り難い事でありました。

弊社を創業した昭和46年からは勿論給料は入らない。準備もしていなかったので仕事も無い、元の職場や関連会社に営業活動。と言っても営業はしたことが無いので手探り状態。先輩のご配慮で変電所の保護継電器の試験、千歳変電所の6000kVA変圧器増設工事をはじめ色々な仕事をさせて頂きました。

千歳の工事では従業員が私だけで66kVの母線の架線は鉄構に登り、胴綱を着けて夕方、遠くから盆踊りの太鼓を聞きながら母線を緊張した思い出があります。

勿論、建設工事には穴を掘ること、型枠を作ること、コンクリートやモルタルを打設すること。屋内ではチャンネルベースを据え付け配電盤の設置、ケーブル布設など。貴重な体験を仕事として連日行いました。

お陰様で今は優秀な社員に恵まれてもうすぐ81才、健康にも恵まれて自力歩行も出来て車を運転して通勤ができるのは「運」にも恵まれていると感謝しています。

今年も新入社員が入りました。種々多難な年とは思いますが今年も良い年にいたしましょう。良い年にするのは私たちの日頃の努力の積み重ねです。

一致団結、無事故無災害で頑張りましょう。



取締役相談役 向井 隆

安全管理優良現場管理者に表彰されました

平成30年2月16日 北海道電力株式会社札幌統括電力センター変電グループリーダー永澤 満様（現北海電気工事株式会社電力保守部）が来社され、弊社技術部の鈴木敏文の安全管理優良現場管理者表彰式が執り行われました。

長年にわたり現場管理者としての豊富な知識経験と優れた能力を発揮し安全管理を実施してきたことが評価され受賞されました。

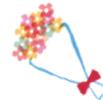
今後も、皆の先頭に立ち的確な安全管理を実践し他の模範となつてご活躍いただけることを願っております。

おめでとうございます。



第1技術部 電力システム課

鈴木敏文



永年勤続表彰



早いもので、入社して30年が経ちました。異業種からの転職で、電気のことは何もわからない状態でしたが、諸先輩のおかげで、なんとか会社にも慣れこれまでやってこられました。

業務を通して、社会インフラに係る仕事ができることは貴重な経験となりました。あと数年はお世話になります、健康に留意しつつこれまでの経験を後輩に伝えていきたいと思ひます。

品質管理課 細目 浩明



平成20年4月に入社して、今年で勤続10年となりました。改めて振り返ってみると、本当にあっという間の10年でした。入社当時は仕事の内容もあまり解らず会社の先輩方、同僚には大変迷惑をお掛けしたと思ひます。そんな私に対し、諦めずに指導していただいた先輩、また現場等でお世話になりましたお客様に感謝申し上げます。

一つの現場作業が無事終わった後のお客様からの「ありがとうございました」という言葉が何よりも私の仕事へのモチベーションとなっています。

これからも出来る限り頑張っていこうと思ひますので、今後も宜しくお願ひ致します。

第1技術部 電力システム課 沖 克久



平成19年に入社し早10年が経過しました。現在は、発電（主に水力系）・民間分野の営業を担当しております。ここまで来られたのはひとえにお客様、同僚の皆様のお蔭であり、すべての方々に感謝申し上げます。

私もあと数年で50歳を迎える年齢です。残りの会社生活、お客様をはじめ皆様のご期待に沿えるよう尽力して参りたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひいたします。

営業部 青木 史生



編集後記



4月となり、雪が溶け、草花が芽吹き始め、土の香りがする素敵な時期になりました。皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

私ごとですが、去年はよく東京へ行く年でした。折角なので、北海道にはないものや、全国放送の番組で紹介された場所に行ってみようといつも試みました。

そこで、一番記憶に残ったのがザリガニのサンドウィッチです。大人気のお店だったので、並んで食してみました。その味はというと・・・土臭い味でした。食べながら、幼い頃に田んぼの脇の用水路でドジョウ取りをしていたことを久々に思い出す味でした。

ただ、周りの方や一緒に来た人は、美味しそうに食べていたので、人の味覚は様々だと改めて感じました。初めて食べたザリガニには、捕まえたり観賞するもので、食するものではない、と教わりました。

最近、太陽の明るさ・暖かさが増しており、行動的になるには絶好の時期かと思います。みなさんも新しい事に触れてみては、いかがでしょうか。何か新しい学びがあるかもしれませんよ。

総務課 大竹 敦子



ESC 情報NO. 145 春季号

発行所 北海道電気技術サービス株式会社

〒069-0832

北海道江別市西野幌120-8

TEL(011)384-8888 FAX(011)384-8889

<http://www.hesc.co.jp/> e-mail:hesc@hesc.co.jp

発行者 向井 隆

編集者 総務課

